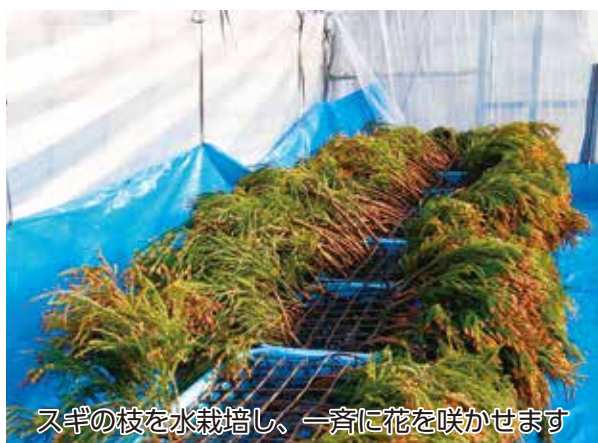


今や日本人の四割以上が花粉症といわれ、国民病ともなっています。政府は今春、発症、発生源、飛散の三つの柱からなる花粉症対策を発表しました。このうちの発症対策では、舌下免疫療法が推奨されています。これは、スギ花粉を含んだ薬剤を服用することにより、ある

厄介者をお宝に スギ花粉採取事業を 始めました



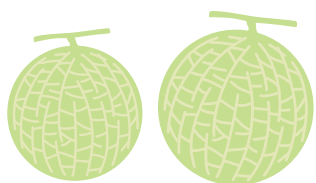
スギの枝を水栽培し、一斉に花を咲かせます

程度の期間をかけて免疫を獲得しようとするものです。組合では、昨年夏から準備を進め、スギ花粉採取事業を行いました。作業は、花粉をもつ雄花がたくさん着いているスギ枝を採取し、それをビニールハウス内で水栽培、その後、飛散寸前の花粉を掃除機で吸い取り袋詰めです。集められた花粉はきれいな黄色で、片栗粉ほどのキメ細かさです。初年度は、136kgの花粉を採取することができました。嫌われもののスギ花粉を資源に変え、社会貢献につながる事業として、今後も継続していきます。

組合では、今冬の試験運転に間に合うよう、未利用間伐材を薪として納入します。農業と林業、福祉が連携した新たな事業が始まります。この事業が、地域の木質バイオマスエネルギー活用契機となることを願っています。

高崎市は、令和六年度から障害者が従事し、メロンをビニールハウスで水耕栽培する事業を倉渚町川浦地区で開始します。通常、メロンは一つの苗に最終的には一つの果実しか残しません。が、ここで採用する町田式水耕栽培では、一つの苗にたくさんの実を成らせることができます。栽培にはハウスの加温が欠かせません。当初の計画では重油ボイラーを導入する予定でしたが、本組合からの「地域の木材資源を活かしてほしい」という提言が受け入れられ、薪ボイラーが設置されることになりました。これにより、年間の燃料代がかなり削減できることになりました。

農林福連携事業 メロン水耕栽培の ための薪を供給



メロン栽培の拠点となる3棟の鉄骨ハウス